

## 読売新聞 きょう（9月21日）のイチ押し

### 1面・3面・政経面 菅内閣支持74%

読売新聞社は19～20日、菅内閣の発足を受けた全国世論調査を実施しました。菅内閣の支持率は74%で、内閣発足直後の調査（1978年発足の大平内閣以降）としては、小泉内閣（87%）、鳩山内閣（75%）に次いで歴代3位の高さとなりました。

- ★ 衆議院の解散・総選挙については、「任期満了まで行う必要はない」が59%。菅首相にどのくらい首相を続けて欲しいかを聞くと「来年9月の自民党の総裁任期まで」が32%でした。
- ★ 政党支持率は、自民が47%（前回9月4～6日調査41%）に上昇。立憲民主党は4%で、合流新党結成前の前回と変わりませんでした。

### 社会面・特別面 大阪地検証拠改ざん事件10年

検察の信頼を失墜させた大阪地検特捜部による証拠改ざん事件の発覚から21日で10年となります。筋書きありきの捜査に固執し、それとは矛盾する客観証拠をないがしろにした末に起きた前代未聞の不祥事。事件の教訓や反省は生かされているのでしょうか。特別面で事件の原因と変革を迫られた検察の歩みを追いました。社会面では、林検事総長のインタビューと、全国各地の若手・中堅検事の思いをまとめました。

- ★ 郵便不正事件を巡り、厚生労働省局長だった村木厚子さんが事件に関与したという見立てに沿うよう、大阪地検特捜部の主任検事が証拠品のフロッピーディスクの記録を書き換えたことが2010年9月21日に発覚しました。
- ★ 取り調べの録音・録画（可視化）が本格導入され、取り調べ技術の向上という副次的な効果も生まれているようです。

#### 他紙と比べて

いじめ重大事態の調査期間が1年以上に及ぶケースが2割あることが、全国の都道府県、都道府県庁所在地、政令市、中核市、東京23区の154自治体を対象にした読売新聞のアンケートでわかりました。社会面で報じています。さまざまな課題について迅速に調査・集約できるのは、全国に充実した取材網を展開している読売新聞だからこそ。地方紙にはできない強みです。